

ごままお計要の自



立志

(3月15日 川口中学校卒業式)

持家住宅建設資金を貸付けます

県では、持家住宅の建設を促進するため新しい制度を設け建設資金を貸し付けていますのでご利用ください。

▼貸付けの条件

次の条件のすべてに該当する人は貸付けを受けられます。
・県内に自ら居住するための住宅を建設又は購入しようとする人
・資金の貸付けを受けなければ住宅を建設できない人で、前年一年間の収入金額又は所得金額が次の額以下の人
給与所得のみの人
収入金額 七〇〇万円
その他の人
所得金額 五二五万円
住宅金融公庫の昭和五十七年度第一回個人住宅の融資を受けて住宅を建設する人(増改築については公庫利用を問いません)

▼貸付内容

貸付限度 一戸当り、五十万円(四百万円(十万円単位))。
利率及び償還期間
・木造一三五平方メートル以下 年四・五% 十五年以内
・木造一三五平方メートルを超えるもの及び非木造 年六・〇% 十年以内

四月九日～四月二十八日
◎時間 役場の執務時間内
◎場所 町民課

人形劇サークル

“でんでん虫”より
仲間募集

いま人形劇サークルでんでん虫では、新しい仲間を募集しています。

このサークルは、社会福祉施設や、町の老人会を訪れて、人形劇の上演を行っています。

毎週水曜日午後八時から、末広荘で練習をしていますが、この頃は、シナリオも仲間で作っています。

川口町在住者で社会人の方、ぜひ仲間に加わってください。

小西藤作 ☎2438
阿部吉光 ☎2136

昭和五十七年度
第三十二回 川口町成人式
日時 四月二十九日(祝) 午前十時
場所 町総合福祉センター

昭和57年3月1日現在

人口	6,714人
男	3,277
女	3,437
世帯数	1,509戸

住宅資金等の貸し付け

国民年金積立金 還元融資
町では、国民年金積立金の還元融資を受けて、次のとおり各種資金の貸し付けをしています。
希望の方は、4月30日までに町役場福祉課へ申し込みください。

老人居室整備資金

貸付の対象者 60才以上の親族である高齢者と同居する世帯で、老人の専用居室の増築又は改造する者。
貸付金 121万円(予定)
利率 原資の借入利率の範囲内。
ただし、生計中心者及びその配偶者が貸付年度に所得税がかからない場合は、年3.2%。
償還方法 元利均等半年賦十年償還

障害者住宅整備資金

貸付の対象者 身体障害者手帳1級又は2級及び療養手帳Aを所持している者のために、居室、玄関、風呂場、便所等の増築又は改造をする者。
貸付額 182万円(予定)
利率、償還方法 老人居室整備資金と同じ。

おもな内容

青柳町長 新年度施政方針を表明	2
昭和57年度 川口町一般及び特別会計予算の概要	12
教職員と役場職員(係長以上)人事異動	14
おしらせコーナー	17

57年度施政方針

自分達の町に愛情をもとう

青柳町長は、三月五日、町議会三月定例会の本議会において、つぎのような町政運営に関する所信の表明と、昭和五十七年度における主要な施策についての施政方針を明らかにし、町民各位の理解と協力を要請しました。

行政運営の 基本的な考え方

川口町議会三月定例会の開会にあたり、内外共に極めて厳しい社会経済情勢を展望し、町政運営に関する所信を明らかにすると共に、昭和五十七年度に於ける施策についてその方針を申しのべ、議会議員の皆さん及び町民各位のご理解とご協力を頂きたいと存じます。

さて、わが国は経済の安定成長、高齢化社会への移行の中にあつて、価値観の多様化、地域社会の変貌等が進行するにわたる、資源、エネルギーの制約、経済摩擦の激化など、ますます厳しさを加える内外情勢のもとに、来るべき二十一世紀を展望する新たな行政展開が強く要請されております。

合理的町村経営
いま時代は、歴史の大きな変革

この転換と潮流の中で、わが川口町が二十一世紀への歩みを確かなものとするためには、今こそ「行革の仕組」を再び「総点検」して「合理的町村経営」に徹しなければならぬと考えております。私は、財政的には四年前より、「財政再建整備計画」を樹立し、経常収支比率の改善（八六・七パーセントが七三・九パーセントへ）人件費比率の改善（四六・五パーセントが三〇・二パーセントへ）

公債費比率の改善（約二億円の繰上償還の実施）等大きな成果を収めて来たところであり、この「町政の安定的推進」を図るためにはこの「財政再建整備計画」を更に大きく進めなければならぬ。この諸点についても大きく取り組まなければならないと考えております。

第1点 スクラップ・アンド・ビルド方式

第一点は、スクラップ・アンド・ビルド方式（既定経費見直し）の採用であります。

旧来の既定経費の増分主義（既定予算に上乗せ）方式では、低成長下の町政は既定経費で完全に硬直化し、新しい需要にこたえることは出来ない。

したがって、既定経費全体をスクラップ（こわし）し、新しい視点に立って施策の優先順位を明らかにし、あらためてビルド（建て直す）する考えであります。すなわち既定も新規もすべていったんゼロにして、そこから査定をし直すと言う事であり、

第2点 民間的感覚と 経営意識の導入

第二点は、民間的感覚と経営意識の導入であります。

私は、今日まで「企業的感覚」による「町村経営」により大きな成果を収めてまいりましたが、新しい時代に対応出来る行政マンに最も必要なことは、
① 企業能力をそなえたマネージャーになること。
② 働く公共団体をつくること、働く公共団体をつくる第一歩は「少数精鋭主義」であることとあります。

第3点 文化行政への模索

第三点は、文化行政への模索であります。

次の時代の新しいテーマ、それは文化行政であろうと考えられます。私達は、すぐれた芸術作品に接すると深い感動を覚えます。地域住民の暮らしの中で「生きがい」と「喜びを味わい」、「感動を覚える」それがこれからの新しい時代の行政でなければならぬ。「心の豊かさが豊かな人間社会を創る」物より心を求める変化がはじまりつつあります。

当町は、「目に見える町づくり」即ち物による基盤整備は、各種の国庫補助事業を大巾に導入し着々とその成果をあげております。したがって、これと平行して「目に見えない町づくり」即ち心による基盤整備に着手しなければならぬと考えております。

「さあ川口を愛そう」

私は「豊かな人間社会を創る」基本は、自分の郷土がどんな仕組みで、どんな事を考え、どんな風になろうとしているかを知ることであり、自分の郷土に深い愛情をもつ事であると考えております。そこで私は、「自分達の町をみつめよう」、「自分達の町に愛情をもとう」といわれる「Let's Love Kawaguchi レッツラブカワグチ」さあ川口を愛そう運動を展開する考えであります。町民個々の可能性と町の可能性が大きな「きずな」にむすばれたとき、それは素晴らしい町が創り出されるものと信じております。

調和のとれた活力ある 温かい町づくり

私は、この様に発想の転換を図り町民の皆さんの「理解と協力」によって、「合意」を形成しながら小さくともよい力強い町に、小さくともよいユニークな他の町には見られない独特な「個性を持った」町に創りあげ、町民の皆さんが胸を張って歩けるような「調和のとれた活力のある温かい町づくり」に最善の努力を重ねる所存であります。

経済の現況

財政実情

節減合理化

内外ともに極めて厳しい社会経済環境の中にあつて、昭和五十七年度の国家予算は経済の着実な発展と国民生活の安定向上、社会経済情勢の推移に即応しつつ、内需中心の景気の維持拡大に配意し、行財政改革と財政再建を強力に推進して財政の対応力を回復することを基本課題に、一般行政費を中心に歳出の徹底した節減合理化、各種施策の厳しい選択、公債発行の圧縮、公共投資の大巾な抑制を行うとともに、歳入面については全般にわたって大巾な見直しを行い、受益者負担の原則を導入するなど、超緊縮予算を編成しております。

経済の見通し

また、経済の見通しは、過去数次のテコ入れにより物価は落ち着いた方向にありますが、構造的な不況は長びき貿易摩擦の拡大を始め、個人消費支出の停滞、民間設備投資の低迷など内需の景気回復テン

が進んでおります。

町の財政見直し

さて、当町における新年度の財政見直しは、歳入予算の基礎となる地方交付税は国が示した伸び率の七パーセントを若干上回る見込みであります。これは、泉水小学校建設に伴い、投資的経費に係る交付分が新年度に限り増額されるためであり、学校建設に係る分を除いた実質的な伸び率は、国が示した伸び率を一・三パーセント下回る前年度対比五・七パーセント増という極めて僅少なものであります。一方、国の厳しい歳出削減、行政改革により、新規に補助金を獲得することは、極めて困難となっております。

町債の抑制

また、町税収入は、関越道などの大規模な工事完了による事業所の減少と不況を反映して、法人町民税は大巾に落ち込んでおり、若干の伸びがあったとしても、自主財源率は、歳入総額の二六・四パーセントにとどまっております。一方、町債の残高は、逐年増加いたして、新年度の償還金額は一億五千七百九十九円となっており、歳出総額に占める割合は、一・六パーセントとなっております。

57年度施政方針

昭和57年度重点施策

- 第1に…新しいコミュニティの醸成
- 第2に…潤いのある定住条件整備の促進
- 第3に…地域農政移行の確立と商工業の振興
- 第4に…学校教育施設整備及びスポーツの振興
- 第5に…社会福祉の充実

57年度施政方針



▲窓口事務の一本化

一部事務組合の負担割合軽減

このように厳しい情勢の中ではありますが、後年度の公債費対策として前年度同様、減債基金の積立をすることといたしております。町債を更に「五千三百万円繰上げ償還」することにいたしました。また、事業実施に当たりましては、継続事業を主体にした補助事業を重点的に導入いたしまして、町債の増加を抑制するとともに、公債費については交付税にみかえりのあるものを選択する考えであります。

行政機構の改善 合理化の先取り

また、今、国が強力に進めております行政改革につきましては、前段で申し上げました財政再建整備計画と同様、四年前より当町独自に着手して「事務事業の見直し」、「定員の削減」、「窓口事務の一本化」、「課の統廃合」などにより、行政機構の改善合理化を行い、補助事業を大中に導入して財源の有効配分に徹し、一般行政経費支出を始め、全ての経費の徹底した削減を図ってまいりました結果、

現在では多少弾力性が生じてきております。

二十一世紀への対応と 町政の方針

しかし、財政基盤は軟弱であることに変わりはなく、財政需要は今後ますます増大していくものと思われれます。したがって、私は極めて困難な財政環境の中にある当町の財政状況を十分認識し、町勢の着実な前進を図るため、新年度は次の諸点を基本に財政運営を行う方針であります。

八十年代は、二十一世紀に向かつての対応の時代であると考えております。厳しい現実から将来を展望するとき、これからは活力を秘め、質的均衡のとれた安定社会をめざすものであり、我が川口町の未来を確かなものにするため、「創意と努力」によって理想を実現しなければなりません。

シビルミニマムの達成

私は、その足固めとして「健康にしてうるおいのある定住条件を満たすために」をテーマに国・県の補助事業を最大限に活用し、限られた財源の中で健全財政を堅持しながら、社会経済の推移に的確に対応した積極的な「先どり行政」を展開して、「一日も早いシビルミニマムの達成」に各分野の事業を大きく進めてまいりましたが、お陰様で極めて短い期間にかつてない大きな成果を取ることができ、今や当町は、「行政の先進地」として各方面から注目を集めております。

五大重点施策

- 第一に 新しいコミュニティの醸成
 - 第二に 潤いのある定住条件整備の促進
 - 第三に 地域農政移行の確立と商工業の振興
 - 第四に 学校教育施設整備及びスポーツの振興
 - 第五に 社会福祉の充実
- 次にその施策について申し述べます。

57年度施政方針

第一、新しいコミュニティの醸成

郷土愛と自治意識が 芽生える温かい心のふれあいを



▲お祭りコミュニティ

連帯と協力

まず第一の新しいコミュニティの醸成について申し上げます。今日の政治の基本、それは相互にコミュニティを形成しながら、「理解と協力」によってコンセンサスを得ることであり、合意を形成しないものは無意味であり、無価値であります。昨今は、地域住民に合理性、個人中心性の特徴とした生活意識が急速に広がり、近隣の人との親睦ふれあい、相互に助け合う近隣相互の協力意識は希薄になっております。

たった「連帯と協力」によって築かれるものであり、温かい心の通じあいとふれあいから生まれるものと考えております。

集会所整備の充実

このため、相互に交流を深めて理解と助けあいの輪を広げる近隣社会づくりは、かねてより行政の中に大きなウェイトをおいて、各種施策を積極的に進めてまいりました。すなわち、地域におけるコミュニティ形成の場として欠くことのできない集会所整備につきまして、昨今全町に完備いたしましたし、今年も増設を必要とする三集会所について予算措置いたしました。



▲コミュニティ活動 町民ハイキング

心の豊かさをもとめて

これからは、物的な豊かさと同じ時に心の豊かさが強く求められておりますが、心の豊かさは、連帯と協働によって築かれた心あたたまるコミュニティから生まれるものであり、一人一人の郷土を愛する精神と川口町を愛する心から生まれるものであると信じております。

今後自らの地域づくりは、自らの手という自治意識を高め、町民のニーズとアイデアをとり入れ、衆知を集めて健全な近隣社会づくりを進める考えであります。「連帯と協働」こそすべての基礎条件でなければならないと考えております。

スポーツ「レクリエーション」の実施

また、スポーツ、レクリエーションがコミュニティ形成に極めて大きな役割を果たしておりますので、各種の大会や催しにあたりましては、これまでのような画一的な部分を大中に是正して、娯楽的おまつりの要素を多くとり入れ、子供からおとなまで全町民が楽しみながら参加できるものにするとともに、体育、レクリエーション施設整備を大中に促進し、スポーツ、レクリエーションの振興を図ってまいりました。

57年度施政方針

第二、潤いのある居住条件設備の促進

明るく安全快適な
居住環境を

家庭基礎の充実

次に、第一の潤いのある定住条件整備の促進について申し上げます。

社会生活の原点は家庭であり、この家庭基礎を充実させるものは地域の居住環境整備であります。

私は、明るく、豊かで、うるおいのある居住環境整備は、なによりも優先していかねばならぬ重要な課題であるとの考えに立って、これまでに生活道路整備、用排水路整備、スポーツ、レクリエーション施設整備、図書館の設置、防災対策の拡充など、国・県の補助事業を主体に各分野において、定住条件の改善を積極的に進めてまいりましたが、中でも総合運動公園は昨年八月から新たに、キャンプ場、遊歩道、自然観察池を加え、今年度の利用者は、三万二千五百十四人となっております。図書館は、開館以来毎月平均約八百人の方が利用しております。



▶ 県営住宅完成

また、小さな地方の町村では画期的な催しでありました美術展は、

各方面に大きな反響を呼んでおります。これらの川口町には、かつてなかった新しい試みがいずれも各位のご理解とご協力により目標を大きく上まわる成果を収めております。

このように、今までに実施いたしました各般の事業の成果と新しい時代の求めているニーズを踏まえたうえで、今年度におきましても次のように、各分野にわたる施策を計画いたしました。

体育館オープン

まず、中山高原の開発整備につきましては、昨年労働省から県内では、当町だけが認可をいただき建設を進めております「体育館が新年度早々にオープン」いたしました。新農業構造改善事業による開発も年次的に計画しておりますので、総合運動公園の周辺一帯は、全町民の憩いの場として、また、健康増進とレクリエーションやふれあいの場、自然観察などの野外学習の場として一層充実され、将来は、自然を活用した観光施設と



▲ ほぼ完成された体育館

しても大きな役割を果たすものと信じております。

“木沢ミニ総バ”スタート

環境面では、新年度から新たに事業実施の見直しとなりました。「木沢地区農村基盤総合整備事業」と継続事業であります「上川地区農村基盤総合整備事業」による「集落排水路整備三カ所」を予算措置いたしました。

また、町道整備につきましては、年々改良、舗装が進められているところではありますが、今年度におきましてもこれを更に促進するため、国庫補助事業を主体に「改良十四路線、舗装六路線」を計画いたしました。

なお、補助、起債事業に該当し

県道川口岩間木線
主要地方道に昇格

次に国・県道の改良、治山、治水等の公共事業につきましては、国の予算編成では新規事業は一切これを認めず、三年連続して伸び率ゼロという極めて厳しいものであります。地域の発展と環境整備促進のため、予算獲得には積極的に対処してまいりましたが、その成果が実り、「県道川口塩殿線の舗装工事」、「県道小千谷川口大和線の特改第一種工事」、「県道小栗山川口線の交通安全施設工事」、「塩谷川砂防工事」について、それぞれ新規に採択されることとなっております。

新川口橋 調査開始

また、かねてより関係当局に陳情を重ねてまいりました、県道川口岩間木線の「主要地方道昇格」が認可されましたので、今後は一

段と改良整備が促進されることとなり、魚野川の架橋新設につきましても新年度には、位置の選定など具体的な検討がなされることとなっております。

町ぐるみ 防雪体制へ

次に防災面につきましては、新年度には、新たに三カ所が「急傾斜地崩壊危険区域」に指定され、一部地域では指定と同時に「崩壊防止工事」が着手される見通しがあります。

また、毎年大きな被害を出しております大雪対策につきましては、防雪施設設置を大巾に促進するとともに、「町ぐるみの防雪体制」を更に充実強化して行く考えであります。

なお、地域における消防力増強のため、防火水槽の新設及び小型消防ポンプ整備につきまして、予算措置いたしましたし、災害復旧事業につきましても状況に応じて的確に対処して行く考えであります。

57年度施政方針

第三、地域農政移行の確立と商工業の振興

経営基盤強化と
希望のもてる産業で経済の安定を



▲ 機械化農業

農業は当町の基幹産業

次に第三の地域農政移行の確立と、商工業の振興について申し上げます。

農業は、当町の基幹産業であり、全世帯の五十七パーセントの家庭が米作中心の農家です。農業は、食糧の生産、供給という他産業にはない大きな使命をもち、

おりますが、米の生産過剰攻勢を始め、食生活の変化により食糧のニーズも大きく変わり、農業もこれらの変化に即した対応を迫られており、農業をとりまく環境は、極めて厳しいものがあります。

転作達成率 122%

こうした中において、農業を守りこれを健全に発展させるには、

行政と農業者が一体になって取り組んでいかねばなりません。農政最大の課題として昭和五十二年度から実施されております水田利用再編対策は、第二期対策に入り一段と強化されましたが、農家各位のご理解とご協力によりまして、昨年の転作達成率は、百二十二パーセントと目標を大きく上まわる成果を収めることができました。

当町は、毎年転作配分を上まわる転作が実施されておりますが、「転作率は九・九パーセント」でこれは、県下百十二市町村中、下から三番目に低いもので、当町への転作配分が他より少ないことを示すものであります。

「転作技術実証展示圃」の実施

なお、新年度における当町への転作配分面積は、昨年と同じ五十一ヘクタールが配分されておりますが、このうち三ヘクタールが昨年の台風十五号に伴う八・二三水害の被害が大きいため、特別緩和措置がとられることとなりましたので、五十七年度の転作目標面積

プロ農家の育成

私は、農業を一つのビジネスとしてとらえ、これに生涯をかける「プロ農家を育成」して、いかなる事態にも十分対応できる農家経営に体質を強化するため、県下では初めての「地域農政移行基本構想」を策定して、「地域農政の確立」と新しい農業としての「複合農業」を強力に進めてまいりましたが、新年度におきましても複合農業による作目の安定、産地化及びプロフェッショナル農業者の育成、経営の近代化については、更に積極的に取り組む方針であります。

大型プロジェクトの実施

このため、定住条件整備の中核ともなっております「西倉地区農村基盤総合整備事業」、「上川地区農村基盤総合整備事業」、「新

57年度施政方針

農業構造改善事業、「一般農道整備事業」などの大型プロジェクトを始め、複合経営の促進と高生産農家育成のための「養蚕振興地域育成総合対策事業」、「高生産農業育成対策事業」、「肉用牛集約生産基地育成事業」、「農業生産基盤整備事業」などの継続事業のほか、関係当局へ強力な運動を展開してまいりました成果が実り、新たに採択されました「木沢地区農村基盤総合整備事業」、「野菜集団産地育成事業」、「農林水産業総合振興事業」などを予算計上いたしました。

地方産業育成資金の高度利用

次に商工業の振興対策であります。商工業、とりわけ中小企業は、農業と並んで我が国経済の基礎を支える活力の源であります。物価は、安定傾向にあって明るい素地が一部にあるとはいえず、景気のカゲリ現象下において企業間格差は拡大し、民間設備投資の落ち込み、個人消費の低迷など内需の景気回復テンポは鈍く、中小企業倒産は依然として高い水準で推移しており、長びく不況の中で民間の各企業は、かつてない厳しい対



しいたけの生産

応を迫られております。このため、政府の景気浮揚策、経済運営に大きく期待をするところであり、町といたしまして、

でも国・県の施策と併せて、可能な限りの措置をとる必要があると考えております。したがって、預託金を増額したほか、

地方産業育成資金を始め、各種制度資金の高度利用を図るなど、町内企業の振興発展に財政の許す限り積極的に対処する方針であります。

第二次中高層住宅建設を調査

次に人口の増加対策の大きな要因となります。県営住宅は、入居者を公募しておりますが、入居希望者は多数ありますので、満杯になる見通しであります。したがって、「第二次中高層住宅建設」を検討しておりますが、新年度からは、関係機関と具体的な協議に入る考えであります。

また、関係自動車は、開通を目

前にしてありますが、これが開通いたしますと総合運動公園の利用者を始め、従来からの観光施設へスポーツ、レジャー等の町外者誘致が容易となり、販売力の拡大と地域の産業、経済活動が活発になりますので、これらの施策についても積極的に取り組む方針であります。

第四、学校教育施設整備及びスポーツの振興

充実した教育と健全な心身で未来に明るい希望を

教育環境の整備

次に第四の学校教育施設整備及びスポーツの振興について申し上げます。未来を建設し拓いて行く青少年を心身ともに健全に育成することは、行政の任務であり、社会の責

務であります。近年、社会の諸情勢は、急激に変化してきており、この社会の変化に対応しながら、児童、生徒の主体性や創造性を養い、能力の開発と個性に応じた教育をほどこし、教育水準を向上させるには、教育環境を整備することが急務であります。

第二次 学校教育施設整備

また、学校は、地域におけるスポーツ活動や近隣社会形成の場ともなります。公民館活動など社会教育の場としても極めて大きな役割を果たしております。



子供達は成長している

このため、昨年「学校教育施設整備五カ年計画」を策定し、厳しい財政実情の中ではありますが、町の財政負担を最小限にとどめ計画的に、しかも早い機会に学校教育施設の整備を完了させるため、この整備計画に基づいて整備を進めてまいりましたところであり、計画第一年度の昨年は、泉水小学校建設用地取得、木沢教職員住宅の改築など、計画どおりに事業を実施することができました。

ましては、必要量の全額を予算措置いたしました。町史編さん準備

なお、町の歴史、文化を後世に伝える町史の編さんにつきましては、新年度から資料収集など本格的に編さんの準備に入る方針であります。

図書館の充実

次に社会教育につきましては、住民があらゆる機会と場所を利用して、実生活に即した文化的教養を高めるための環境の醸成に努めるとともに、次代を担う青少年が社会連帯を大切にして、創造性豊かに成長するようスポーツを大きくとり入れ、現行のリーダーバン



町民スポーツ大会

好評を博しております。町民の教養、文化の殿堂として、高度に利用いただけるよう効果的な運営を図る所存であります。

テレビ難視聴解消へ

また、テレビは、教養、娯楽をはじめ各種の情報源として極めて重要な役割を果たしております。このため、テレビの難視聴地域の解消は積極的に進めてきたところでありますが、昨年新たに開局したテレビは、町内全域にわたって受信が困難な状況にありましたので、この改善につきましては、関係当局へ強力な運動を展開してまいりましたところ、新年度において

町民皆スポーツ

次にスポーツの振興について申し上げます。地域住民相互の交流を盛んにし、連帯意識が芽生え、心ふれあうコミュニティの形成に、また住民の健康を維持増進して、健全な心身を保つためにスポーツ、レクリエーションは極めて大きな役割を果たしております。スポーツ、レクリエーション活動の向上には、施設整備が欠くことのできない条件であります。幸い当町には、中山高原に隣接

スポーツ 技術指導会を開催

したがって、新年度は、全ての町民が気軽に参加できる各種のスポーツ行事を幅広く展開するとともに技術向上のため、プロによる「技術指導会」を開催する方針であります。

なお、不慮の事故にそなえ、スポーツ傷害保険加入の助成と全町民が、住民スポーツ災害賠償保証保険に加入すべく予算措置いたしました。

57年度施政方針



成人式の集い

57年度施政方針

57年度施政方針

第五、社会福祉の充実

温かい福祉と健康増進で安心の日々を

活力ある福祉社会へ

次に第五の社会福祉の充実について申し上げます。社会福祉の諸施策は、いずれも住民の日常生活に直結するものでありますことから、福祉の充実につきましては、毎年重点施策に掲げ、鋭意努力を重ねてきたところであります。住民の社会福祉に対するニーズは益々増大し、かつ多様化しておりますことから、活力のある福祉社会の実現に向け、更に福祉施策は積極的に推進して行かなければならないと考えております。



▲ 老人クラブのゲートボール大会

密着させ、きめ細かな配慮を加えながら温かい施策を行う所存であります。

生きがい対策の強化

まず、老人福祉につきましては、我が国はかつてどの国も経験したことのない早さで人口の高齢化が進んでおりますが、高齢化社会は単に老人対策だけでなく、福祉労働、産業、教育などあらゆる分野にかかわる問題であり、高齢化により社会の活力が失われ、いよう各分野で整合性をもった対応をして行かなければなりません。したがって、昨年度内町村では、当町が初めて日本競馬協会から導入いたしました「福祉バス」を有効に活用して健康増進対策、生きがい対策の充実を図るとともに、ねたきり老人に対する在宅福祉の強化やおとしよりのふれあい活動、敬行、老人クラブ活動などの充実を図る方針であります。

ボランティア活動の推進

社会福祉につきましては、社会福祉協議会を地域における福祉活動の拠点として、コミュニティボランティアと愛活動を推進し、住民の主体的参加を促し、地域福祉の増進に努める考えであります。また、当町が他に先がけて実施しております「精神障害者及び腎臓機能障害者に対する医療費の助成」、「心身障害者扶養共済掛金の一部助成」、「母子家庭の高校生修学資金の助成」、「父子手当の支給」、「腎臓患者、人工心臓患者及び精神障害者の通院に要する交通費の助成」などの制度を始め、



▲ 元気一杯 保育所園児

各種の福祉制度の充実強化を図って行く考えであります。

なお、障害者福祉につきましては、相互に理解と認識を深め、社会参加と自立援助に努める方針であります。障害者の社会復帰訓練施設が近隣地域に不足している現状から、新年度は、リハビリセンターの誘致を積極的に検討する考えであります。

新設保育所の位置選定

次に児童福祉につきましては、既存の保育所はいずれも整備がなされておりますので、健康で明るく情操豊かな知性あふれる子供を育成する保育の質的向上を図る方

針であります。

なお、県営住宅の完成や上川地区への事業場の進出、宅地分譲などにより、人口増加が見込まれるところから保育所の規模と配置の適正化を図るため、新年度には、新設する保育所の位置を選定する考えであります。

また、青少年の健全育成につきましては、家庭、学校はもちろん地域全体が一体となった対策が重要でありますことから、昨年発足いたしました「青少年健全育成町民会議」を更に充実させ、地域ぐるみの運動を展開する考えであります。

へき地患者輸送車の有効利用

次に保健衛生対策につきまして、昨年国庫補助により更新いたしました「へき地患者輸送車」を有効に利用し、へき地並びに豪雪地の医療過疎解消に努めるとともに保健衛生活動推進員並びに食生活改善推進委員会を中心とした組織活動を地域に定着させ、食生活の改善指導や成人病検診、乳幼児検診など各種検診の「受診率向上」と「事後指導」に力を注ぎ、自分の健康は自分で守るという意識を広く、予防を主体とした健康増進活動により、町民の健康づくりを積極的に進める方針であります。

特別会計事業

国民健康保険

次に特別会計事業について申し上げます。まず、国民健康保険事業につきましては、高齢化社会の急速な進展、医療技術の進歩などにより、医療費は年々増大し、特に老人医療費並びに高額療養費の増加は著しく、これは将来にわたって増嵩するものであり、国保財政は厳しい現状にあります。

水道・ガス事業

次に簡易水道事業につきましては、老朽施設増補改良を重点的に行うとともに、助定外ガス量の抑制と保安対策を積極的に進め、安定供給に万全を期す考えであります。

農業共済事業

次に農業共済事業につきましては、国が進めております財政再建に伴い、共済事業補助金の削減、単位当たり共済金額の引き下げなどにより、やむを得ず水稲共済のキロ当たり選択共済金額を第二位に設定して、運営をすることとしたしましたほか、昨年に引き続き病害虫防除と家畜の死傷事故防止に重点をおき、共済の充実と作柄の安定を図る考えであります。

予算の規模

・一般会計	2,170,000,000円
・国民健康保険特別会計	269,118,000円
・簡易水道事業特別会計	67,734,000円
・ガス事業会計	184,811,000円
・農業共済事業特別会計	33,950,000円

以上の方針のもとに編成いたしました、昭和五十七年度の予算は、

となったものであります。これを昨年度当初予算と比較いたしますと一般会計では、二〇・二パーセントと大巾な伸長となっておりますが、(ちなみに昭和五十六年度予算の現計は二十一億六千六百万円)その主な要因は、事業費を包含した通年の予算を編成したこと、泉木小学校建設関連事業費を計上したこと、及び災害復旧事業並びに西倉地区ほかの農村基盤総合整備事業などの建設事業費が大巾に増加したためであり、建設事業費を除いた経常経費の伸び率は、前年度対比六・五パーセントとなっております。

むすび

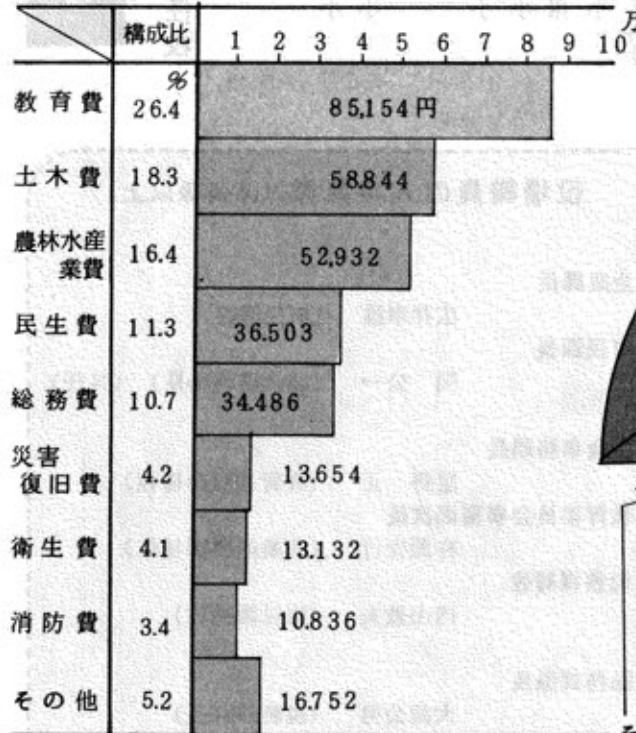
以上で昭和五十七年度の町政運営の方針と施策の概要について申し述べましたが、著しい社会経済の変貌に対処するには、その推移の確に見守りつつ、弾力的な運用が必要であると考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。私は、今日の政治の基本であります「コミュニティ」を形成しながら

昭和57年度町予算

27億2千5百

一般会計予算の町民1人当りの 使いみち

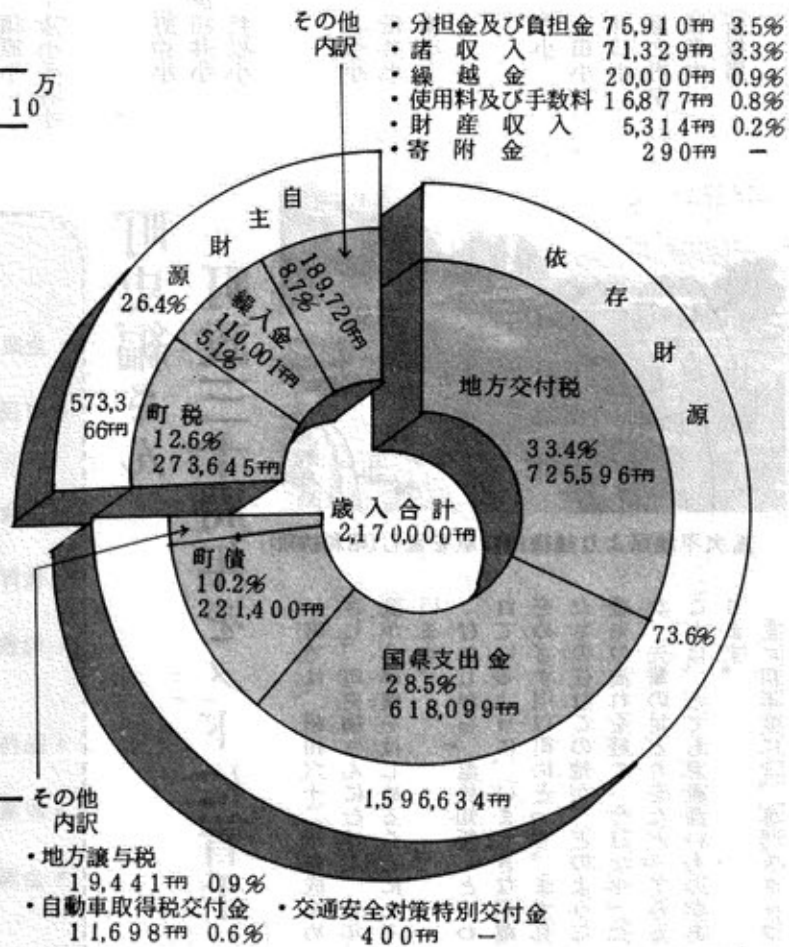
1人当り使うお金 322,293円
 ※ 納めるお金 40,642円



※ 公債費については、借入れ目的によって該当歳出区分に含めた。
 1人当り使用額算出の根拠となった人口は、昭57.2.1現在の推計人口6,733人によった。

昭和57年度

歳入財源別構成

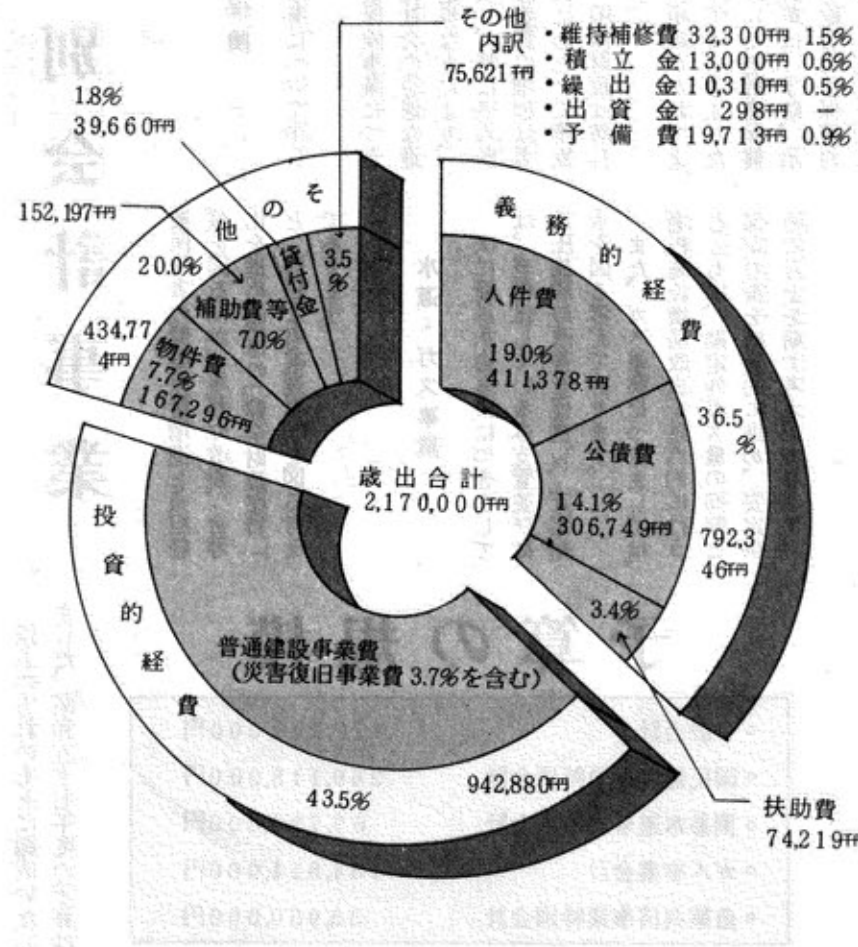


その他内訳
 ・地方譲与税 19,441円 0.9%
 ・自動車取得税交付金 1,698円 0.6%
 ・交通安全対策特別交付金 400円 -

61万3千円

一般会計予算概要

歳出性質別構成



その他内訳
 ・維持補修費 32,300円 1.5%
 ・積立金 13,000円 0.6%
 ・繰出金 10,310円 0.5%
 ・出資金 298円 -
 ・予備費 19,713円 0.9%

会計別の予算額

(単位千円)

一般会計	2,170,000
1. 議会費	41,592
2. 総務費	214,093
3. 民生費	222,413
4. 衛生費	80,208
5. 労働費	6,532
6. 農林水産業費	339,299
7. 商工費	38,414
8. 土木費	230,197
9. 消防費	66,093
10. 教育費	523,824
11. 災害復旧費	80,822
12. 公債費	306,749
13. 諸支出金	51
14. 予備費	19,713
特別会計	555,613
国民健康保険会計	269,118
簡易水道事業会計	67,734
ガス事業会計	18,481
農業共済事業会計	3,950
総計	2,725,613

- ・肉用牛集約生産基地育成事業 (牛ヶ首和牛)
- ・農業生産基盤整備事業
- ・野菜集約産地育成事業 (集団出荷施設整備)
- ・農林水産業総合振興事業
- ・商工業の振興対策
- ・預託金の増額
- ・地方産業育成資金等の高度利用
- ・観光客誘致運動
- ・充実した教育と健全な心身で未来に明るい希望を
- ・泉水小学校校舎、体育館建築
- ・小・中学校の国庫負担教材、理科教材の整備
- ・町史編さん資料収集
- ・リーダーバンク等指導者の充実強化と活用
- ・図書館の蔵書の充実
- ・TNNの難視聴解消
- ・温かい福祉と健康増進で安心の日々を
- ・既存制度の充実
- ・上川地区保育所建設に伴う位置の検討
- ・辺地における患者の輸送体制の整備
- ・予防を中心とした健康教育活動の推進

- 郷土愛と自治意識が芽生える温かい心のふれあいを
- 明るく安全快適な居住環境を
- ・体育館オープン
- ・集落排水路整備三カ所
- ・道路等の整備
- ・町道改良、松沢線他十三路線
- ・町道舗装、小丸山線他五路線
- ・駅前自転車駐車場整備
- ・防火水槽の新設及び小型消防ポンプ整備
- 経営基盤強化と希望のもてる産業で経済の安定を
- ・プロフェッショナル農家の育成
- ・転作技術実証展示圃の実施
- ・西倉地区農村基盤総合整備事業
- ・上川地区農村基盤総合整備事業
- ・木沢地区農村基盤総合整備事業
- ・新農業構造改善事業 (竹田地区の桑園造成)
- ・一般農道整備事業
- ・養蚕振興地域育成総合対策事業 (中山稚蚕共同飼育所改良)
- ・高生産農業育成対策事業
- ・集会施設整備 (西川口集落開発センター他二集会所増改築)
- ・スポーツ、レクリエーションの振興

教職員の人事異動 (敬称略)

転出者	新任校	転入者	旧任校
泉水小学校 校長 品川 睦 中条小 教頭 日岡金一 赤倉小(校長)	校長 大塚政夫 三箇小 教頭 大森正則 後山小	泉水小学校 校長 大塚政夫 三箇小 教頭 大森正則 後山小	校長 大塚政夫 三箇小 教頭 大森正則 後山小
川口小学校 教頭 小栗正和 池谷小(校長) 教諭 諏訪部利栄 東小千谷小 教諭 桜井幸子 井口小 養護 恩田有子 木山小 主事 星野勝江 東小千谷小	川口小学校 教頭 内藤友義 下条小 教諭 阿部史子 井口小 教諭 立川厚生 新採用 養護 森山順子 須原小 主事 五十嵐亨子 東小千谷小	川口小学校 教頭 内藤友義 下条小 教諭 阿部史子 井口小 教諭 立川厚生 新採用 養護 森山順子 須原小 主事 五十嵐亨子 東小千谷小	川口小学校 教頭 内藤友義 下条小 教諭 阿部史子 井口小 教諭 立川厚生 新採用 養護 森山順子 須原小 主事 五十嵐亨子 東小千谷小
田麦山小学校 校長 山下正男 才津小 教諭 子田誠二 春日新田小 教諭 樋口ヨシ 退職	田麦山小学校 校長 伊藤 功 野中小 教諭 柳田多茂津川井小 教諭 津野亮子 村松小	田麦山小学校 校長 伊藤 功 野中小 教諭 柳田多茂津川井小 教諭 津野亮子 村松小	田麦山小学校 校長 伊藤 功 野中小 教諭 柳田多茂津川井小 教諭 津野亮子 村松小
木沢小学校 教頭 南雲長衛 上片貝小 教諭 川上六夫 四日町小 教諭 杵淵法子 上片貝小	木沢小学校 教頭 渡辺敏夫 三条小 教諭 笠原千秋 田井小 教諭 北沢敦子 南小	木沢小学校 教頭 渡辺敏夫 三条小 教諭 笠原千秋 田井小 教諭 北沢敦子 南小	木沢小学校 教頭 渡辺敏夫 三条小 教諭 笠原千秋 田井小 教諭 北沢敦子 南小
川口中学校 校長 菊池実弥 西中 教諭 本山信成 山本中 教諭 岸 仁 水沢中 教諭 松田与四郎 糸魚川中 教諭 小田鮎子 堀之内中 教諭 大滝久美子 東北中 教諭 平賀ひとみ 太田中	川口中学校 校長 遠藤政美 西小 教諭 有沢繁雄 太田小 教諭 坂西喜安 井口小 教諭 河原 昌 堀之内中 教諭 望月博明 城東中 教諭 平石祐子 新採用	川口中学校 校長 遠藤政美 西小 教諭 有沢繁雄 太田小 教諭 坂西喜安 井口小 教諭 河原 昌 堀之内中 教諭 望月博明 城東中 教諭 平石祐子 新採用	川口中学校 校長 遠藤政美 西小 教諭 有沢繁雄 太田小 教諭 坂西喜安 井口小 教諭 河原 昌 堀之内中 教諭 望月博明 城東中 教諭 平石祐子 新採用

新潟県知事選挙

投票日 4月25日

みんなで投票しましょう

任期満了にともなう新潟県知事選挙は三月三十一日告示され、四月二十五日執行されることになりました。

新潟県の首長を選ぶ大切な選挙です。候補者の政見をよく聞き、よく考えて、四月二十五日は棄権することなく、投票しましょう。

選挙事務室の開設!!

県知事選挙に伴う選挙事務室を、三月二十二日、開設しました。事務室は役場三階監査委員室です。

電話 (代) 三一一一番

不在者投票は 四月二十四日までに!!

投票日に所用のため、投票所へ行けない人は不在者投票をしましょう。

不在者投票は役場選挙事務室で、毎日午前八時三十分から午後五時まで受け付けておりますので印鑑と入場券をご持参ください。

▲天神囃子を歌う児童 (2月28日木沢小学校にて)

木沢には、戦前まで神楽があり、他の地区に行き上りするほど盛んであったという。

そんな芸能好きな土地柄から、民謡も多く歌いつがれてきている。

“天神囃子”・“石ばかり”・“盆唄”・“田植え唄”・“松坂”・“広大寺”などである。

なかでも、天神囃子は、目出た席には付きもので、人が集まれば歌われている。

しかし、それも年月の流れとともに、正しく歌える人が数少なくなっていました。

そこで、私達は祖先の貴重な文化遺産を守りぬく



▲天神囃子を歌う児童 (2月28日木沢小学校にて)

木沢には、戦前まで神楽があり、他の地区に行き上りするほど盛んであったという。

そんな芸能好きな土地柄から、民謡も多く歌いつがれてきている。

“天神囃子”・“石ばかり”・“盆唄”・“田植え唄”・“松坂”・“広大寺”などである。

なかでも、天神囃子は、目出た席には付きもので、人が集まれば歌われている。

しかし、それも年月の流れとともに、正しく歌える人が数少なくなっていました。

そこで、私達は祖先の貴重な文化遺産を守りぬく

関越自動車道 防災訓練を実施

(山本山トンネル)

関越自動車道長岡一越後川口間が三月三十日開通されましたが、去る三月十八日、山本山トンネル(小千谷市)で大規模な「トンネル防災訓練」が実施されました。

訓練内容は第一想定、第二想定にわけられて行われ、参加者は、小千谷川口地域消防組合、県警高速警察隊、日本道路公団、新潟交通管制室、同長岡管理事務所、日本自動車連盟(JAF)ら約五十名が参加しました。

第一想定は、トンネル内五メートル間隔に設置した放水ポンプが故障し、トンネル内に放水が止まり、五分後に消防車が到着し、五分後に救出活動に、見学者は、感心していました。

第二想定は、事故発生より十分後に大型トラックから漏れた油より出火、トンネル内五メートル間隔に設置した放水ポンプが故障し、トンネル内に放水が止まり、五分後に消防車が到着し、五分後に救出活動に、見学者は、感心していました。

午後二時、山本山トンネル上り線(川口方面)非常駐車帯付近で故障停車中の普通乗用車、大型トラック二台が衝突し、二人がケガをしたという第一想定。事故発生と同時に非常用電話(二百メートル間隔に設置)にて通報、五分後に救急車が到着。てきわよい救出活動に、見学者は、感心していました。

第二想定は、事故発生より十分後に大型トラックから漏れた油より出火、トンネル内五メートル間隔に設置した放水ポンプが故障し、トンネル内に放水が止まり、五分後に消防車が到着し、五分後に救出活動に、見学者は、感心していました。

町史編さん 町政三十周年をメドに着手

町では、昭和六十二年完成をめざし、町史編さんにむけて、新年度から準備をはじめることになっています。

むかしから「温故知新」といわれているように、いま大きな飛躍をめざす川口町にとって、まず私たちの住むこの地が、どのような歴史の流れを経て、今日に至ったかは、先輩の足跡をたどってみることは、とても意義深いものがあります。

まず初年度には、専門スタッフ

役場職員の人事異動 (係長級以上)

- 企業課長 広井幸雄 (町民課長)
- 町民課長 関 公一 (議会事務局長) (昇任)
- 議会事務局長 星野 正 (教育委員会補佐)
- 教育委員会事務局次長 杵淵光行 (産業開発課補佐)
- 税務課補佐 内山敦夫 (福祉課補佐)
- 総務課係長 大淵公男 (税務課係長)
- 産業開発課係長 宮 栄六 (町民課 支所長)
- 企画課町史編さん係長 桜井兵治 (総務課係長)

退職された職員の方々

企業課長	渡辺 勇
福祉課係長	保健 榎井 サト
川小給食調理員	小西 チェ
木沢小学校用務員	広井 ミヨノ

上記のように4名の職員の方々が惜しまれながら、退職されました。長い間ご苦勞様でした。今後のご活躍を期待します。

木沢には、戦前まで神楽があり、他の地区に行き上りするほど盛んであったという。

そんな芸能好きな土地柄から、民謡も多く歌いつがれてきている。

“天神囃子”・“石ばかり”・“盆唄”・“田植え唄”・“松坂”・“広大寺”などである。

なかでも、天神囃子は、目出た席には付きもので、人が集まれば歌われている。

しかし、それも年月の流れとともに、正しく歌える人が数少なくなっていました。

そこで、私達は祖先の貴重な文化遺産を守りぬく

化遺産を子供達の手で守り発展させるべく、郷土学習の一環としてとり上げ、合同音楽及び勤労の時間を利用して練習してきた。

少人数とはいいながら、一年から六年迄が一緒に練習するのは大変であったが、道を歩きながら、遊びながらも歌っていたという子供達の努力が実って、全員が歌えるようになった。そこで、私達は、その成果を学芸会と町内音楽会で発表した。ハッピー太鼓やたるは借り物だったが、地区の人達から盛大な拍手を頂いた。また、多くの入達の要望で、二月のスキー・もちつき大会にも石ばかりを加えて発表した。私達は子供を通してこれを長く後世に残していきたいと考えている。

の八十名余り。

午後二時、山本山トンネル上り線(川口方面)非常駐車帯付近で故障停車中の普通乗用車、大型トラック二台が衝突し、二人がケガをしたという第一想定。事故発生と同時に非常用電話(二百メートル間隔に設置)にて通報、五分後に救急車が到着。てきわよい救出活動に、見学者は、感心していました。

第二想定は、事故発生より十分後に大型トラックから漏れた油より出火、トンネル内五メートル間隔に設置した放水ポンプが故障し、トンネル内に放水が止まり、五分後に消防車が到着し、五分後に救出活動に、見学者は、感心していました。

午後二時、山本山トンネル上り線(川口方面)非常駐車帯付近で故障停車中の普通乗用車、大型トラック二台が衝突し、二人がケガをしたという第一想定。事故発生と同時に非常用電話(二百メートル間隔に設置)にて通報、五分後に救急車が到着。てきわよい救出活動に、見学者は、感心していました。

第二想定は、事故発生より十分後に大型トラックから漏れた油より出火、トンネル内五メートル間隔に設置した放水ポンプが故障し、トンネル内に放水が止まり、五分後に消防車が到着し、五分後に救出活動に、見学者は、感心していました。

おしらせ コーナー

会社や役所などを退職した人は退職した日の翌日から国民年金に加入しなければなりません。厚生年金などの職場の年金を受けるための受給資格期間を満たさずに退職した人の場合、将来、老齢（退職）年金を受けられない



勤めをやめたら 国民年金へ加入しましょう

「ついつい、かりして……」
というのが多い保険料の掛け忘れは、年金制度にとって一番の大敵です。
こうした「うっかりの掛け忘れを防ぎ、しかも割り引きのおまけつき」などといううまい話を、ご存じでしょうか。
保険料の前納制度がそれです。昭和五十七年度の保険料は一月五、二〇〇円。一年間では六、二四〇円になります。四月に「一年前納」した場合は六、一、一三〇円と、一、五一〇円の割り引きになります。
四月は保険料を一年分前納するの都合のよい時期です。みなさんもこの機会に「一年前納」に切り替えてみてはいかがでしょうか。

また、長年の勤めを無事に終えられた六十歳前に退職された人で、「会社の役所の老齢（退職）年金だけでは老後が不安……」と思っておられる人は、国民年金に任意加入してしっかりとした老後の保障を手にして下さい。
手続きおよび詳しいことは、役場の国民年金係へご相談下さい。

口座振替額の事前案内を実施
小千谷電報電話局
電電公社では、57年3月分の電話料金から事前に振替額を案内するとともに、公社から「領収証書」を送付することになりました。
現在、毎月の振替額は、お客さまの預金口座から振り替えた後、金融機関からの「振替済のお知らせ」等により通知していましたが、「振替額を事前に知らせて欲しい」というお客さまの要望にこたえて実施するものです。
案内の方法は、当月分の振替額を前月分の「領収証書」とあわせて、はがきでお知らせします。そのため「領収証書」がお客さまの手元に届く時期が、現在より2週間程度遅れることとなります。
なお、とくに従来の時期に「領収証書」が必要な場合は電話局へご相談ください。
※ダイヤル通話のご利用状況につきましては、従来、前月分及び当月分の利用度数によりお知らせしてきましたが、口座振替額の事前案内に際して金額によりお知らせいたします。

「ついつい、かりして……」
というのが多い保険料の掛け忘れは、年金制度にとって一番の大敵です。
こうした「うっかりの掛け忘れを防ぎ、しかも割り引きのおまけつき」などといううまい話を、ご存じでしょうか。
保険料の前納制度がそれです。昭和五十七年度の保険料は一月五、二〇〇円。一年間では六、二四〇円になります。四月に「一年前納」した場合は六、一、一三〇円と、一、五一〇円の割り引きになります。
四月は保険料を一年分前納するの都合のよい時期です。みなさんもこの機会に「一年前納」に切り替えてみてはいかがでしょうか。

4月からの保険料は前納できます

保険料を一年前納した場合の金額は、つぎのとおりです。
・定額保険料 六一、一三〇円
・付加保険料 四、六八〇円
・定額保険料+付加保険料 六五、八一〇円

電報配達、風雪の21年……

星野元治氏に感謝状

このたび、優良電報配達請負者として星野元治氏（川口一）が表彰され、先般、関川口郵便局長から感謝状並びに記念品が贈呈されました。
星野氏は、昭和36年2月に夜間電報配達の請負を引受け、以来21年余の長期間無事故で専念した功績が信越郵政局に認められ、このたびの表彰となったものです。

できましたお年玉2等

武道塚の阿部政和さんへ
折りたたみ式自転車…

このところ1.2等の「くじ運」に見離されていたお年玉も、武道塚の阿部政和さんが幸運の2等をしとめ、先般川口郵便局から「折りたたみ式自転車」が贈られました。
なお、当せんした賞品の引換えは7月19日までとなっていますが、早めに引換えられますようお願いいたします。

春の火災予防運動 4月1日～7日

毎日が「防火デー」です僕の家

春先は空気が乾燥し火災の発生し易い気象状態となります。新潟県ではこの時期をとらえ県下一斉に春の火災予防運動を実施いたします。

先般発生したホテルニュージャパンの火災では、防災上の欠陥から多くの尊い人命を失い、私たちに大切な教訓を残しました。

これらを契機に私たちが防災に対する認識を新たにし、日頃から心構えと備えの点検をして不注意による火災をなくしましょう。

小千谷・川口地域消防署では次のことについて重点的に火災予防運動を行います。

ご協力とご利用をお願いいたします。

◎重点目標

1. 身体不自由者等を中心とした焼死防止対策の徹底。
2. 家庭における防火対策の推進。
3. 防火対象物にかかる防火安全の確保。
4. 異常乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進。

◎実施事項

1. 事業所等の要請によるガス爆発実験班の派遣。
2. 消防車両による予防広報。
3. 防火対象物の立入検査。
4. 危険物施設の立入検査。
5. 各事業所の訓練指導。
6. 管内小学校に「火災予防運動推進の花の種子」配布。
7. 身体不自由者、独居老人家庭の防火安全指導。
8. 防火チラシ及びポスターの掲示。
9. 期間中防火フィルムの貸出し。

※ガス爆発実験班の派遣と防火フィルム希望者は消防署予防係までご連絡ください。

春の全国交通安全運動 4月6日～4月15日

たしかめる 心のゆとり春の道

手をあげて横断歩道を
わたりましょう。

運動の重点

- ・ 歩行者、特に子供と老人の事故防止。
- ・ 自転車及び原付自転車の安全利用の促進。
- ・ 安全運転の確保、特に交通三悪の一掃。

踏切安全通行
につとめましょう
越後川口駅

1. 踏切では必ず一旦停止して安全を確認しましょう。
2. 踏切内で、しゃ断棒で閉じこめられたときは、あわてないでそのまましゃ断棒を押しながら脱出して下さい。
3. 踏切の先が混雑しているときは、前方にアキができるまで踏切の手前で待ちましょう。踏切上で立往生したり、車の後部がハミ出して列車と衝突したら大変です。
4. 踏切上で動けなくなったときは、非常ボタンを押してまず列車を止めましょう。非常ボタンのない踏切では自動車に備え付けの発煙筒か赤旗を列車に向けて振って下さい。

TEL小千谷(3)12311

〔貸出し防火フィルム〕

1. 防火管理者 20分
2. 煙から命を守るために 20分
3. あなたの炎は安全ですか 20分
4. クマさんのマイホーム 16分